

令和8年度 静岡大学人文社会科学部
経済学科（夜間主コース）
社会人選抜（第2期） 試験問題

[小論文]

令和8年2月21日(土)
10時00分～11時30分

注意事項

1. 解答始めの合図があるまで、この冊子を開いてはいけません。
2. 解答始めの合図の後、下段に記載の枚数のとおり問題用紙・解答用紙・下書用紙があるか確認してください。
3. 解答を始める前に、解答用紙の所定欄に受験番号を記入してください。解答用紙に氏名を記入してはいけません。
4. 試験終了後も監督者が許可するまで退室しないでください。
5. 問題用紙及び下書用紙は持ち帰ってください。解答用紙は持ち帰ってはいけません。

問題用紙（この表紙を除く）	・・・	7枚
解答用紙	・・・	2枚
下書用紙	・・・	2枚

『答案作成の注意事項』

1. 書き出しは、一マスあけない。
2. 改行したら、一マスあける。
3. 読点には「、」を使用し、句点には「。」を使用し、それぞれ一マスとする。ただし、行の末尾については文字と同じマスに含める。
4. 小さな「っ」「ゃ」「ゅ」「ょ」は一マスで使う。
5. 数字と英字の書き方は、下の例に従い、二文字で一マスを使う。
数字例：123であれば、「12」と「3」で二マス使用。
英字例：abcであれば、「ab」と「c」で二マス使用。

次の文章は、吉野太喜著『平成の通信簿 106のデータで見る30年』（文藝春秋、2019年）の一部である。この文章を読み、問1と問2に答えなさい。

著作権の関係上、公表しません。

著作権の関係上、公表しません。

著作権の関係上、公表しません。

著作権の関係上、公表しません。

著作権の関係上、公表しません。

(出典) 吉野太喜著『平成の通信簿 106のデータで見る30年』(文藝春秋, 2019年, 174~181頁)。ただし, 原文は縦書きであるがこれを横書きに直し, 原文にあった小見出し等を省き, 図表番号を1~4に修正した。また, 原文にはない(注1)~(注3)を追加した。

(注1) 消費者物価指数(CPI): 各年度の物価水準を比較するための指標。ここでは, 2015年度の物価水準を100としている。

(注2) ジニ係数: その値は0~1の間を取る。0の場合, 全ての人々に所得の分配が平等に行われており, 1の場合, 1人の王様のような存在が全ての富を独占していることを意味する。

(注3) 棒グラフの濃淡が分かりづらいが, 各国ともに, 棒グラフは左より1980年, 1990年, 2000年, 2010年を示している。

問1. 本文1～2ページの下線部（a）をよく読み、次の質問に答えよ。

「ある仮想国のドナイには4人家族の世帯が11世帯（A～K）あり、各世帯の所得は下の表の通りである。税金は考えず、どの世帯も社会保障は受け取っていないとする。」

各世帯の所得（単位：アピル）

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
100	200	100	1000	3000	10000	500	700	2000	5000	300

- ① 「貧困線(poverty line)」はいくらか。
- ② 各世帯の「等価可処分所得」はいくらか。
- ③ 「貧困率」は何%か。

解答には、単に数値を示すだけでなく、導出過程を簡潔に示せ。（配点30%）

問2. 日本の格差の特徴について、図表1～4を参考にして、500字以内でまとめよ。
ただし、本文最後のページにある下線部（b）「世界の趨勢とは一線を画している」については必ず触れること。（配点70%）

採点・評価基準 (具体的基準)

教科・科目名	小論文 (社会人選抜 (第2期))
実施学部・学科等	人文社会科学部経済学科 (夜間主コース)
出題のねらい	<p>問1. 経済学を学ぶ上で必要となる数的思考力を必要とする文章をしっかりと理解する能力を有しているかを確かめる問題である。</p> <p>問2. 本文中の表を参考にして、論理的思考力及び思考の結果を整理する力を有しているかを確かめる問題である。</p>
採点基準	<p>問1. 正解に到達するためには、問となっている部分の文章を、表などを作成して順々に考えていけば良い。問を順序通りに、正確に読み取り、正解までたどり着けるか、その過程も評価する。</p> <p>問2. 本文の内容を理解し、また本文中の表を正確に解釈し、それを利用して「日本の格差の特徴」をどれだけの確にまとめることができるかを評価する。</p> <p>配点 問1. 30% 問2. 70%</p>